



発行：NPO法人とよなか市民環境会議「アジェンダ21」  
編集責任者：奥野 享  
事務局：豊中市環境部環境政策課内  
〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1  
Tel:06-6858-2848 Fax:06-4865-4606

この号のハイライト

P.1～2 環境展/P.3 自然部  
会/P.4 花と緑/P.5 生活部会、  
新企画「環境とわたし」/P.6  
設立レセプション・竹炭/P.7.  
とよなか市民環境会議/P.8 ア  
ジェンダの見直し

2004年(平成16年)3月号 NO. 6 (通巻第24号)

## とよなか市民環境展 ストップ地球温暖化



さあ変えよう 私たちの暮らし



第12回を迎えた「とよなか市民環境展」が、2月7日・8日の2日間にわたって豊中市民会館で行われました。「ストップ地球温暖化 ～さあ変えよう私たちの暮らし～」をテーマに、様々な催しや、市民団体、企業、行政などの展示がありました。

市民会館の入り口では、花と緑のネットワークとよなか提供の野菜と土壌改良材とよっぴーの頒布が行われ、まるで八百屋さんのようににぎやかでした。

受付では、会場を回ってクイズに答える環境クイズラリーの用紙が配られました。回答を提出するとその場で撮った写真入りの「豊中環境人」の認定書がもらえるのです。

メイン会場では、各団体のブースが設けられ、パネル展示の他、太陽光発電システム、家庭用コジェネなどが展示されていました。その中でも甲賀町愛林クラブの丸太切りコーナーでは多くの方がヒノキの丸太切りにチャレンジしました。

会場の奥にはステージがあり、第九中学校の環境学習発表会やピアノトリオの演奏など次々と楽しいプロ

グラムが行われました。

地下の会場にもパネル展示の他、おもちゃの病院や自然物クラフトコーナーがあり、子どもたちでにぎわっていました。また、8日には岡山県新見市から来られたそば職人による、本場のそば粉を使ったそば打ちを体験し、その場で打ったそばの試食もできるコーナーもありました。

会場の外にはエコバスとエコカーが展示され、7日には豊島公園周辺で燃料電池車の試乗会も行われました。

出展は、とよなか市民環境会議アジェンダ21の7つの部会・プロジェクトの他、企業7団体、市民団体11団体、豊中市8団体、教育機関4団体、その他の行政関係4団体の41団体でした。市民・事業者・行政の参加によって年々充実した内容となりつつあります。2日間の来場者は、7日(土)が約400人、8日(日)が約600人、合計約1,000人を数えました。(井上和彦)

## 環境展 見たり、聞いたり、体験したり

新しい展示やステージの計画がいっぱい盛り込まれた今年度の環境展でした。時間を有効に使っているいろいろなものを見たり、聞いたり、体験することができました。

### 第九中学校の生徒が環境に関連して「食育」の報告

ステージに上ったのは第九中学校の生徒9人。「食育」で学習したことが交代で報告されました。

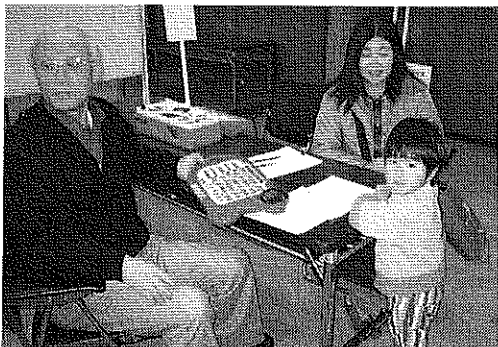
生活の中で感じているストレスはおとなで50%、子どもでも38%です。ストレスは食事で減らせませぬ。

緑と食品のリサイクルプラザの学習では給食の食べ残しや調理くずが堆肥になるのを見学し、堆肥に触れたりし作業のお手伝い。スーパーに無農薬有機野菜が売っているのを見たり、給食センターの見学や栄養士さんの話を聞いたり、食品衛生検査所や茨木の食糧倉庫も見学。盛りだくさんな学習をよく頑張ったなあと、



聞いていたおとな達は感心していました。

### とよなか・おもちゃ病院の話聞く



おもちゃ病院がありました。病院長の森俊二さんに話を聞きました。

——おもちゃの修理は、電動のものが多から専門家でも複雑

で大変でしょうね。

「おもちゃ好きで子ども好きなら、だれにでもできるボランティアです。治療費は要りませぬ。電気の基盤が傷んだものは病院では扱いません。メーカーに送ると買うより高くつきますし」

奥ではもう一人のお医者さんが縫いぐるみをほどこして中の機械を出しているところ。ていねいな手つきで作業しています。

今お医者さんの仲間は6人。難しい故障は皆で研究する、それが楽しいとか。環境展では患者が少なくて手持ち無沙汰（宣伝不足で申し訳ない）。机の上にはカルテや入院証など病院に似せた紙もありました。

### 燃料電池の自動車にも試乗する

1日目だけでしたが、ダイハツの協力で燃料電池の車の試乗がありました。

「究極のエコカーと呼ばれる燃料電池車ってどんな構造になってるの？」それは圧縮した水素をタンクに詰め、空気中の酸素と化学反応させて電気を作りモーターを回して走る車です。後ろのトランクに水素タンクが積まれていますが見えませぬ。1メートルぐらいのタンクだそうです。乗り心地はモーターで走るの

すから静かでした。今はまだデモ展示や試乗の段階で、2005年度には水素ステーション



を設置、リースでの率先導入を目指しているとのこと。

この日試乗できた人は17人でした。

### その他珍しい体験がいっぱいありました

マイカー生活のエコロジー度診断 交通部会展示の前には、パソコンが2台置かれている。私もエコロジー度の診断を受けましたが50点。「よい方ですよ」と慰められる。車利用の生活は、地球温暖化への寄与が

大きいから、非常に辛い採点のようでした。

そば打ち体験 2日目には岡山県新見市との交流で実現。指導に従いそれぞれ自分でそば粉をこね、出来上がったそばを試食しました。参加者25人。

太陽光で焼き芋 外では太陽光を集めて焼き芋の実験。2日とも寒くて生焼けでしたが。 (奥野享)

# 自然部会・春の七草調査報告と市民交流会

## 豊中の自然の現状を語り合う

豊中の動植物の実態を知り、その保全の手立てを考えようと自然部会では生物調査を続けています。

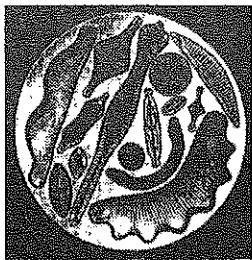
2003年度は3月2日から1カ月間、春の野草10種を調べました。田園的環境に生息する種、水辺的環境に生息する種、山地的環境に生息する種、豊中では希少種になろうとしている種、比較的よく知られている種を10種選び、市内を52方形枠に分け、47名の市民で小さな路地まで限らず調査しました。

その結果の報告と情報交流会が12月17日、くらしかんで行われました。A4版21頁にまとめた報告書



と大地図を基に、10種の分布状況と結果から考察されることなどを部会員が手分けして報告しました。ごく普通に田圃周辺で見られたタビロコやセリは総株数540株、734株と激減しており、山地で見られるシュンランに至っては70株と希少種になっていることも分かりました。交流会では「なくなっていくものに対してどういう手立てをとるのか」と自然の減少著しい豊中において悲憤の声が多く聞かれました。また具体的に東豊中団地の開発に際し、ツリガネニンジン、ワレモコウ等の希少種の群生地を何とか保全できないかとの提案もされ、現在、建築主の都市基盤整備公団と話し合いを続けています。(易信子)

## 第2回自然学習講座「千里川の珪藻と自然環境」



いろいろな形をした珪藻  
(真山、原図)

12月6日(土)中央公民館にて、講師に中井末松氏をお迎えして行ないました。豊中市生まれで永年教育者として勤務され、定年後に珪藻の研究に没頭され、豊中の池、川、日本各地の珪藻研究結果を学会や書籍で発表されていましたが、

本年2月に集大成となる『水の中の宝石、珪藻の世界』を出版された在野の研究者です。豊中市以外の参加者も多くありました。

講演では、珪藻は中生代(恐竜時代)に発生、進化したとされ、化石である珪藻土の利用は多岐にわたり、石川県珠洲市の七輪は有名。約2万種類もあるとされ、地球全体の光合成の1/4は珪藻によるといわれ、漁貝の餌として多くの生き物を支える生産者(食物連鎖)として重要な役割をはたしている等、0.1mmにも満たない水生生物にこの地球環境が支えられていることを学びました。千里川の水質は年々良くなり、“中の上”と考えられるとお聞きし、安心しました。

(上田峯子)

## 水鳥調査

水鳥の市内一斉調査は2000年12月に行って以来2回目になります。それまで市内全域で一斉に調査するという事は行われていませんでした。水鳥は植物

と違って移動しますから一斉に調査することは意味のあることです。今回は調査員を一般から募集し部会員も加わって36名(内、市民24名)で行いました。調査に先立って、1月17日に蛭池公民館で説明会を開き、調査する上での注意点や調査する分担域を決めました。その後箕輪池で実際に何種類かの水鳥の特徴などを観察しました。24日の調査当日は午前9時から正午までの3時間、各分担場所をまわり水鳥の種類別個体数を記録しました。

池の水面に垂れ下がった枝の下に潜んでいるものや



枯れた水草の中について見つけにくいもの、多数が動きまわって数えにくいものなど双眼鏡をのぞきながら識別する人、カウントする人、記録する人など、手分けして調査は進められほとんどの人が正午までに調査を終えることが出来ました。

調査の詳しい結果については別に報告します。

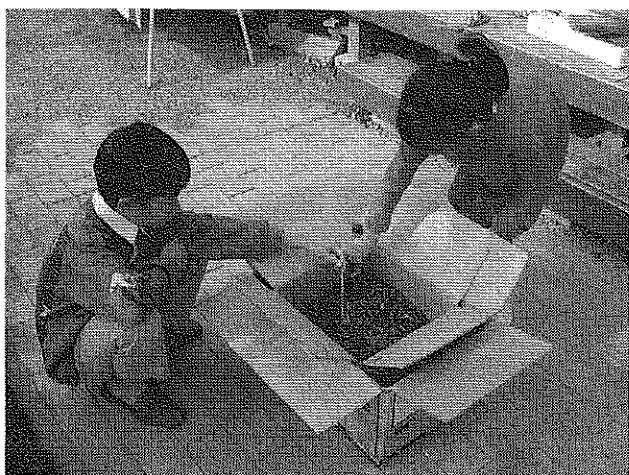
(山口寿)

# 花と緑のネットワークとよなか

## 「やった～！ 熱くなってる！」

### 体験記 子どもと一緒に堆肥を作る

はじめて段ボール堆肥の床が発熱した時は、思わず子供を呼んで、大喜びしてしまいました。前日に、「とよっぴー」と糠を混ぜておいた堆肥床の温度が、



60度を超えていたのです。子供は「すごいね！こんなふうになるんだ！」と言いながら、生ごみを入れたり、混ぜるのを手伝ってくれました。

思えば、この段ボール堆肥に行き着くまで、私の「生ごみ人生」にも長い道のりがありました。（といっても4年ほどですが。）

はじめにやったのは、コンポストです。そのまま土の中に入れていくので、いい方法のような気がし

たのですが、大量のウジがわき、あまりの気持ち悪さに卒倒しそうになり、2度目にウジがわいた時に断念しました。

そして、次に試みたのがバケツ堆肥。これは結構長い間、頑張っていました。ただ、においがきつくて、バケツのフタを開けるだけで子供はどこかへ逃げていってしまいます。生ごみを堆肥にすると、燃えるごみの日にたくさん出さないですむのが楽で、やめる気にはなれませんでした。が、「こんなにくさいのは、何かやり方が間違ってるからだろうか」とあれこれ考えていました。そんな時「花と緑のネットワーク」の講習会で段ボール堆肥を知り、やってみる気になったのです。

### ダンボール堆肥に挑戦しよう！

こうしてたどり着いた段ボール堆肥ですが、今までの方法に比べて、とてもいいなと感じています。

においもきつくないし、何より発熱しているので「発酵が進んでるんだな～」と実感することができます。温度が高かったり、低かったり、一喜一憂するのも楽しみです。今のような寒い時期には発酵がゆっくりで、高い温度を維持するのは難しいですが、子供も「生ごみは捨てるものじゃなく、肥料にするもの」と思ってくれているので、いろいろ工夫しながら頑張っています。まだやったことのない方、一度試してみませんか？  
(村瀬令子)

## 花と緑のネットワーク（略称NPO花と緑のネット）も法人化に

アジェンダ21の法人化に続き、「花と緑のネットワーク」もこのほど、特定非営利活動法人の認証を取得しました。

当組織は、アジェンダ21のプロジェクト活動として、この間、学校給食センターから排出される食品残渣と給食の食べ残しに加え街路樹剪定枝を混合させた豊中市の堆肥化事業（緑と食品のリサイクルプラザ）に積極的に関わってきました。

本事業は2003（平成15）年度初頭から堆肥の製造責任を行政が担う一方、当組織は頒布と配布に加え、堆肥を活用した多様な市民活動や市内農業関係者との連携を通じ、事業の円滑的な推進と資源循環の社会実験を成功させる責務を負うことになりました。そのため、法人格を取得することで、行政とパー

トナーシップを明確にするとともに、堆肥の有償頒布収益である「とよっぴー基金」を管理・活用することから、社会的認知とより透明度の高い組織運営を図るため法人化に踏み切ったものです。

今後も、アジェンダ21をプラットフォームにしながら、プロジェクトの利点と法人のメリットを活かして多くの市民とのネットワークを広げる決意です。

(中村義世)

市民環境会議の合同総会の日程が決まる。

とき 6月25日(金)

ところ 豊中市立市民会館 大集会室

ぜひ日程表に書き入れてくださいネ！ 事務局

# 生活部会の活動

## 2004年のエコライフカレンダーあります

今年のエコライフカレンダーを配布しています。今年のカレンダーの特色は次の2点に表現できます。

①カレンダー部分に表情豊かな子ども達の写真を取り上げ、見た目にも楽しくお家に飾って置けるものにしたと、力作の写真を揃えました。

②2002年には環境家計簿モニターが100人を超え、集約の結果は統計的資料としても十分に使えるものになってきました。このデータを武器に、今後は積極的に発言ができると自信も生まれてきました。

豊中市からは、市民生活で発生する二酸化炭素がなおも増加していると報告されています。これ以上市民が悪者にされないよう、環境家計簿の運動を拡大したいと願っています。「ぜひモニターになって、環境家計簿運動の発言力を強めるよう後押しをお願いします」と訴えているところです。

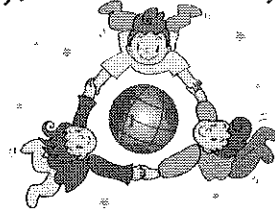
### 学習会 省エネ対策の極意を聴く

1月19日くらしかんで、京都精華大学教授山田國廣さんの話を聞きました。

環境家計簿をつけ続ける運動がどんな意味をもつかを考えてみよう、と言うことで非常に現実的な提案をもらいました。

環境家計簿をつけていると、地球環境にいいことをしているという満足感があります。これは大事なことです。できることなら、いいことをやっているのだから社会的に評価されることが望ましいと思います。滋賀県では県の呼びかけで環境家計簿のモニターになる

2004年  
エコライフカレンダー  
ストップ地球温暖化、次世代のために



と認証書を渡すことを始めました。そんなことも一つの励ましになります。1年間モニターを続けた人には、記念品を贈ろうという計画もあります。

省エネ対策の極意は、もう一步突っ込んで考えることです。冷蔵庫の「ドアの開閉を少なくしよう」はどこにでも書いています。どうしたら開閉を少なくできるかです。家族の皆が分かるように庫内を整頓するか、おやつをメモをドアに貼っておくとか。

結局電気の省エネは、

- ①機器（ハード）に投資して省エネする、最近では待機電力の少ない節電型の機器も多くなっています、
- ②冷蔵庫の例のように上手に使う工夫、
- ③使用時間を減らすこと、の3つに尽きます。

そんな点に留意して運動を楽しく盛り上げましょう。なお、当日の参加者は27人でした。（奥野享）

## 環境とわたし

### 私たち自身が川の汚染者だった…

私が環境問題に関わりだした初めは、川の汚染が私たち自身の排水によることを知って以来です。

だから今でも水のことなら関心があります。今も続けているのは、風呂を沸かすときお湯の表面を覆う薄手の銀マットを風呂に浮かべます。湯の冷めのを防ぎ、ずいぶん省エネになっています。

小学校に環境学習に行ったときは、歯磨きをするのに水を出しっぱなしにするとどれ位無駄になるかを子ども達といっしょに体験しました。雨どいの水

### 新開悦子さん

を庭の打ち水に利用できるよう桶に溜めることもやっています。

そんなことから始まり、環境家計簿の運動にのめり込み、エコ

ロジーな生活のため家中に節電タップをいっぱい（6、7個かな）つけたり、工夫を楽しんでいます。

家では「環境おばさん」と呼ばれますが名前になんで「エコおばさん」にして～、と頼んでいるのですが…。



# NPO法人設立記念レセプション

## 手作りの料理もいっぱい

私たちの組織がNPO法人となったのを祝って、2月20日夕方から福祉会館で設立の記念レセプションを行いました。

当日の参加者は106人、立食パーティーで、NPOのパーティーにふさわしく、手作りの料理が仕出し屋のオードブルと並んでテーブルに置かれました。

各テーブルを飾る花は竹筒の一輪挿しで季節の菜の花など自然部会の皆さんのセンスあるあしらいです。

来賓にはとよなか市民環境会議会長であり豊中市長

でもある一色貞輝さんがトップにあいさつ。続いて大阪北生活協同組合理事長（豊中ロータリークラブ）、豊中建設業協会代表、豊中市人権教育推進委員協議会長、連合豊中代表から祝辞をいただきました。

4月から事務局長に就任する井上和彦さんが決意表明を行い、乾杯になりました。乾杯の発声は岩手県立大学から来ていただいた高橋秀行助教授です。新しく発足する私たちの組織が広いつながりをもっていることを心強く感じました。

また、市民環境会議の設立以来、苦勞をともにしてきて昨年故人となった川崎健次さんの妻である川崎眞澄さんには飛び入りであいさつをお願いしました。ワーキンググループ以来の古い会員には運動をはじめた頃の懐かしい思い出がよみがえるひとときでした。

組織を構成している4つの部会と3つのプロジェクトは、活動報告に代え寸劇を披露したり、唱歌を歌ったり、それぞれ趣向を凝らしたあいさつを行いました。

最後に「アジェンダ21宣言」を読み上げ、出席いただいた皆さんにお礼を述べ新たな出発の決意を訴え盛会だったレセプションを終わりました。（奥野享）



## 竹炭プロジェクト

### 竹炭焼き体験者の指導

千里中央公園での竹の間伐作業や竹炭焼きも2年が過ぎようとしています。その間に今年度は竹切りを5回、竹炭焼きは6回行いました。各方面の協力でドラム缶窯を1つ増やし3基での作業になりました。雨対策も、低いところにトラックで土の搬入をしてもらいました。

12月には、過去最多の17人の体験・見学者があり、メンバーと合わせ総勢26人でのにぎやかな炭焼きになりました。当日と翌日の作業工程を説明、3基の窯のうち1基を体験者用に開放し、実際にカケヤを使っての竹割りや節取り、詰め込み、煙のなかをうちわで強く扇ぎ続けるという作業も体験してもらいました。また竹酢液の採取ではこげ茶色の液体の強い臭いに顔をしかめていました。でも、参加者は皆とても楽しそうでした。

一晩窯を冷やし、翌日の窯出しの結果は、1基に少



千里中央公園野外炊さん場で竹割りりと節取り作業

し焼き過ぎがありましたが、見学者用も含めよい出来上がり、メンバー一同ほっとしました。

今回は、小缶による短時間（3時間）の炭焼きも試みたところ、これが大変良質の焼け具合で大喜び。

手軽に取り組める教材の一つになりました。

（三宅史郎）

## 豊中市地域省エネルギービジョンができました！

平成 15 年 9 月より策定委員会を設置し、議論を重ねてきました「豊中市地域省エネルギービジョン」を平成 16 年 2 月に策定しました。

豊中の地域特性を反映したこのビジョンは、市域における二酸化炭素排出量が増加している現状のもと、省エネルギーの観点から、省エネルギー推進の方向性、具体的な行動メニューや削減目標を示し、地球温暖化防止に取り組むための行動指針です。

今後は、市民・事業者・NPO・行政それぞれが主体的に取り組みをすすめるとともに、相互に連携・協働しながら、地球温暖化対策をはじめ、環境保全活動に取り組ましましょう！

### 省エネルギー目標

平成 22 年（2010 年）までの省エネルギー目標は以下のとおりです。

「1 人あたりエネルギー消費量 90 年度比 2%削減」

「総エネルギー消費量 90 年度比 10～11%削減」

### ビジョン実現のための施策－省エネルギー実現に向けた行動計画

#### 基盤的な取り組み

- ①効果的な普及啓発および環境学習の推進・・・幅広い市民の巻き込み、環境学習の推進など
- ②人的・財政的資源の確保・・・人材の確保、財源の確保
- ③分野横断的な取り組み・・・庁内連携、パートナーシップ

#### 行動計画案

- ①「環境家計簿」の普及・推進
- ②グリーンコンシューマー・グリーン商店の育成・サポート
- ③豊中版省エネルギー先進企業の公表
- ④ESCO事業の推進
- ⑤新エネルギーの導入
- ⑥ノーマイカーデーの推進
- ⑦自転車交通インフラの整備
- ⑧コミュニティバスの導入
- ⑨クリーンエネルギー自動車の導入・インフラ整備促進

### 豊中アジェンダ 21 の特徴について

前号は「アジェンダって何？」がテーマでしたが、今回は「豊中アジェンダ 21」の特徴です。

豊中アジェンダ 21 の理念と目標は、行政計画である環境基本計画と共有しており、この 2 つの計画は車の両輪として、豊中の環境の保全と創造の実現のため推進されています。

また、「家族で話し合って、わが家のごみ減量作戦に取り組もう」「不要なアイドリングはやめよう」など、具体的に個人が生活や仕事の中で取り組める行動をメニュー化しています。代表的な項目は、率先活動としてとよなか市民環境会議アジェンダ 21 の各部会・プロジェクトで取り組んでいます。 \*見直し委員会の状況は、次ページで紹介しています。

# アジェンダ21の見直し

とよなか市民環境会議アジェンダ21は、かねてから進めてきたNPO法人設立の手続きを完了し、昨年12月16日をもって正式に法人格を取得しました。

今後は定款に定めた通り、「豊中アジェンダ21」の推進を図ることを通じて、持続可能な地域社会の実現のために活動していきたいと考えています。

現在、NPO法人としての変革と同時に進めなければならない課題として、「豊中アジェンダ21」の見直しがあります。これは、理念と目標を共有する豊中市の「環境基本計画」の見直しに伴って相互に関連し合い連携するためです。1999年に策定されたこの2つの計画は車の両輪に例えられ、豊中という地域で動いていくのにお互いなくてはならないものとして位置づけられています。しかし、環境問題をめぐる社会情勢の変化は急速であり、一昨年に行われたヨハネスブルグ・サミットでもローカルアジェンダ21の取り組みをより具体的に移す必要があることが確認されました。

豊中アジェンダ21も策定からほぼ5年がたち、様々な取り組みが進められてきましたが、一旦振り返って

総括・評価を行う必要性も生じています。

豊中アジェンダ21の見直しには、見直し委員会を設置し、まず101項目の行動提案全てについて評価を行いました。評価項目は、とよなか市民環境会議及びとよなか市民環境会議アジェンダ21の取り組み状況、実際の環境の状況、市民の満足度、環境施策の進捗度、市民の行動の実践度などとし、これらについて環境報告書や省エネルギービジョン策定の際の調査結果、その他統計等を用いて評価しました。

これを踏まえて、この行動提案101項目については、いくつかまとめてプロジェクトとして組み立てることも検討しています。今後は広く市民が参加できるワークショップ等を開催したり、次の世代を担う子どもや学生が参加できるような工夫をしていきたいと考えています。この見直し作業を通じて新たな市民の参画を呼びかけ、活動への参加や具体的な取り組みの仕組みづくり、とよなか市民環境会議アジェンダ21の新たな活動メンバーの拡充を図っていききたいとも考えています。皆さん、是非ご参加ください！

(井上和彦)

## 編集室から

▼以前に聞いた話だが、火星探査ロケットはまず月の引力圏に入りその力を利用してスピードをつけ宇宙へと旅立つ。ちょうど走って階段を下りるときに踊り場の柱に掴まると、くるりと弾みがつく原理の応用だとか。NPOもそんな軸になりたいのだが…。(Z)

▼”ストップ温暖化”の環境展が終わった。常に二酸化炭素を出し続ける人間世界と吸収する植物の世界。ある日、突然のように、中央環状線沿いの緑地帯が消えていた。また、今年も豊中の緑被率が減っている報告書を見るのがつらい。(W)

▼☆昨秋自転車での通勤途上、旧猪名川の川面のあちこちにピチピチはねるたくさんの小魚を目撃。その美しさと異様さに大地震の予兆(?)かと身構えながらも、「豊中の川にこんなにも生きものがいたんだ！」と感激。最近の川面はごみと数羽の水鳥だけで寂しい。(Y)

▼春が近づいてきました！私は寒いのが苦手なので春が待ち遠しい限りです。街路樹や玄関先の花など街角の植物が季節の移り変わりを教えてくれるので、散歩が楽しみになってきますね。(J)

▼環境展で一番良かったのは？“新見市のそば”お昼を食べそびれお腹ペコペコの私には、名人の打った“そば”は格別！環境展に必要なもの…。それは子どもの笑顔と食べ物があること！と思うのは私だけですか？(P)

▼桜の開花予想が発表されましたが、例年より1週間以上、早いそうです。私が学生時代のウン十年前は確か入学式に満開だったな。やっぱり地球温暖化が進んでいるんですね。地域省エネルギービジョンもできたので、できることから始めたいですね。(K)

### 会員の皆さまへ

4月には、新年度の会費を納めてください。アジェンダ21推進のため、活動資金として大切にに使わせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

《広報チーム》

Z奥野、W岩瀬、Y小村、K別所、J井上、P大村

<http://www.5b.biglobe.ne.jp/~toyonaka/>  
Eメール [ecoshimin@kmd.biglobe.ne.jp](mailto:ecoshimin@kmd.biglobe.ne.jp)